

たまたま、私も10日(水)に幸地川沿いの桜並木で撮影しました。デジカメの写真データを調べると、午後4時38分から48分まで、22枚撮影していました。まだ、葉が残っている木から3分咲きの木まで、それ

沖縄タイムス 2018年1月11日

ヒカンザクラ 寒空に開花 末吉公園

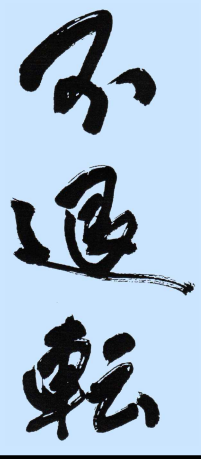
沖縄気象台は10日、那覇市でヒカンザクラの開花を観測したと発表した。市首里末吉町の末吉公園内にある標本木で、5～6輪の花が咲いていた。平年より8日、昨年より4日早い。

10日の那覇市の天気は曇り、最高気温は午後2時29分の15.2度、最低気温は午後6時の13.9度だった(午後7時時点)。

気象台によると沖縄地方は向こう1週間、寒気や湿った空気の影響で曇りが多い天気となる。最高、最低気温は共に12日ごろまでは平年よりかなり低く、15日からは平年より高くなる。



開花が観測されたヒカンザクラの標本木(10日、那覇市・末吉公園)(沖縄気象台提供)



第 152 号
東江中学校
校長 神元 勉



その木に個体差があります。また、下向きに咲くので、見上げるようなカメラアングルになります。家に帰って、テレビで「ヒカンザクラの開花」のニュースを見て、あまりにも偶然な出来事に、うれしいやら、何か不思議な気持ちになりました。和名の緋寒桜(ヒカンザクラ)は花色が緋色に染まることからつけられ、この名前が彼岸桜(ヒガンザクラ)と紛らわしいので、寒緋桜(カンヒザクラ)ともいいます。

知らなかった！年賀状で間違いやすい書き方4選

ママの知りたいが集まるアンテナ「ママテナ」 <https://www.mamatenna.jp/article/24677/>

- 「新年あけましておめでとう」は意味が重複している
新年の挨拶としてもよく使用する「新年あけましておめでとう」は、「新年」と「あけまして」の意味が重複しているため、使い方としては間違い。とはいえ、「新年あけましておめでとう」を使う人は多く、それでもいいのではないのか？という意見も。ちなみに、正しい日本語としては、「新年おめでとう」または「あけましておめでとう」となる。
- 「A Happy New Year」は年末向け
オシャレで素敵な年賀状にするために、英語で「A Happy New Year」と書く人もいるはず。しかし、この文章を日本語にすると「楽しい新年」となり、年賀状としては意味がおかしくなってしまう。「A Happy New Year」は年末に「よいお年を」の意味で使用される文章。年賀状で使う際は、「A」の冠詞をはずして「Happy New Year(新年おめでとう)」とするといいだろう。
- 「1月1日元旦」も意味が重複している
これもよく見かける誤りのひとつ。そもそも「元旦」は「元日の朝」という意味。ということは、「1月1日元旦」は「1月1日1月1日の朝」となっていることになり、意味が重複している。「元旦」を使用する場合は、1月1日午前中に届く年賀状のみ。「元日」は1月1日中に届く年賀状に使用して、1月2日以降に届く年賀状については記載しないほうが無難かもしれない。
- 目上の人には2文字以下の賀詞は使わない
年賀状を作るにあたって悩むポイントが賀詞ではないだろうか。新年のお祝いの言葉になり、「寿」や「春」、「賀正」、「迎春」、「謹賀新年」、「恭賀新春」など、さまざまある。簡単な使い分けとしては、上司や取引先など、目上の人に対しては4文字の賀詞。友人や部下、親族などには2文字以下の賀詞でもいとされている。